



東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ (East Asian-Australasian Flyway Partnership)

全体版ニュースレター

Vol. 2 (2023年3月発行)

発行：環境省自然環境局野生生物課

業務請負者：バードライフ・インターナショナル東京

● 渡り性水鳥フライウェイ全国大会を開催しました

2023年1月27～28日に、令和4年度渡り性水鳥フライウェイ全国大会を開催しました。全国大会は、国内ネットワーク参加地における取組について発表・議論することにより、東アジア・オーストラリア地域フライウェイに生息する渡り性水鳥の保全に関する情報交換や国内ネットワーク内の交流を促し、関係者のモチベーションを向上させ、さらには各地の取組を活性化することを目的とし、昨年度から実施しています。昨年度はオンラインでの開催となりましたが、今年度は感染症対策も行いながら、オンライン・対面の併用開催としました。27日には、環境省より、東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ (EAAFP) の概要と最近の国内における取組について発表したほか、近年野鳥や家禽で多くの感染が確認されている高病原性鳥インフルエンザについて、金井裕氏より国内における発生状況に関する講演がありました。その後、国内の6箇所のネットワーク参加地より、地方公共団体の担当者やNGOの方から、湿地やそこに生息する渡り鳥の紹介、地域で実施している活動や取組の説明、鳥インフルエンザの発生状況などに関する発表がありました。いずれの地域も、それぞれの湿地や地域の特徴を活かした取組を実施しており、他の地域からの参加者にも参考になる内容だったのではないかと思います。

28日には、習志野市の谷津干潟にて現地視察も行いました。はじめに谷津干潟の概要や活動の紹介をしてもらい、その後は谷津干潟観察センター内及び干潟の案内をしていただきました。オンラインでは中々伝わらない、活動の様子や現地の様子、さらにはバックヤードなどを見学し、大変有意義な時間となりました。ご参加いただいた皆様、発表者の皆様、また、現地視察にご協力いただいた習志野市谷津干潟自然観察センターの皆様、ありがとうございました。



写真 1. 谷津干潟での現地視察の様子

● 国内モニタリング検討会を開催しました

2023年1月23日に、重要生息地ネットワークを活用した水鳥の渡りの動向把握及びネットワーク参加地におけるモニタリングの体制強化をテーマとして、フライウェイ・国内モニタリング検討会（環境省主催、オンライン）を開催しました。専門家や国内ネットワークの各種群（ガンカモ類、ツル類、シギ・チドリ類）コーディネーターが参加しました。EAAFPの戦略計画2019-2028では、気候変動による渡り鳥とその生息地への影響の把握及び渡り性水鳥重要生息地ネットワーク参加地間の連携促進が奨励されています。日本には各ネットワーク参加地において長期間にわたるモニタリングデータが蓄積されており、既存のデータを用いて、気候変動による渡りの動向への影響の把握を行うことができるほか、モニタリングを行う際にも、ネットワーク参加地が連携することにより、より効果的なモニタリングの実施が可能になると考えられます。

これまで環境省では、令和2年度には国内モニタリング検討準備会を、令和3年度は国内モニタリング検討会を開催し、国内のネットワーク参加地におけるモニタリングデータから実際にどのような現象が観察できるのか、参加地で得られたデータを用いて気候変動の影響の把握に関する先行的な解析を行い、今後のデータ解析の方法や実施体制、解析結果の活用、さらにはモニタリング実施方法等について検討してきました。今年度は、国内のネットワーク参加地へこれまでの成果を共有し、今後の連携促進や課題解決に繋げることを目的とし、これまで議論された内容を整理し、報告書を作成するための検討を行いました。報告書については、今年度中にとりまとめ、環境省ホームページでの公表を予定しているほか、各参加地の担当者にも配布する予定です。来年度には、報告書の内容を共有し、意見交換を行うための報告会も予定しています。



写真 2. モニタリング検討会の会議の様子

● 佐賀市東よか干潟とアラスカ州クパルック湿地が姉妹湿地提携を結びました

2023年2月8日に、シギ・チドリ類の国内最大の渡来地である東よか干潟と、アラスカのクパルック湿地がEAAFPに基づく姉妹湿地提携を結びました。クパルック湿地は、日本で越冬するシギ・チドリの中で最も数の多いハマシギなど、シギ・チドリ類の繁殖地です。オンライン覚書締結式には、佐賀市 坂井英隆市長、米国内務省土地管理局アラスカ州 スティーブ・コーン局長、EAAFP 事務局長や環境省が出席しました。姉妹湿地提携により、拠点施設における双方の湿地の紹介や、共通種をはじめとする渡り鳥の情報共有、オンラインによる交流等が行われる予定です。



写真 3. 調印した覚書を掲げる佐賀市長と参加者の様子 ©佐賀市

・佐賀市の姉妹湿地提携に関する情報はこちらから：

<https://www.city.saga.lg.jp/main/87753.html>

● 第11回パートナー会議が開催されます

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて延期になっていた EAAFP のパートナー会議が、2023年3月12～17日にオーストラリア・ブリスベンで開催される予定です。パートナー会議とは、EAAFPに参加するパートナー（政府パートナー、政府間機関パートナー、国際 NGO パートナー等）が集まり、EAAFPにおける活動を効果的に促進するために議論し、必要な事項を決定する会議のことで、およそ隔年に一度の頻度で開催されています。

今回の会議は、中国で2018年に開催された第10回パートナー会議以来、4年ぶりの開催になります。会議での議論の内容や採択された決定事項等につきましては、全体版のニュースレター等を通じて、参加地の皆さまにも共有してきたいと思っておりますので、続報をお待ちください。

・第11回パートナー会議に関する情報はこちらから：

<https://www.eaaflyway.net/11th-meeting-of-partners-mop-11/>